



# 横手市における道路維持管理について ～橋梁長寿命化、路面性状調査～

秋田県 横手市 建設部 建設課

## 1. はじめに

横手市は、秋田県の県南地域として東の奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれた横手盆地に位置し、東西に約35km、南北に約45kmの広がりを見せ、総面積は692.80km<sup>2</sup>で秋田県の約6.0%を占めています。

道路網については、国道13号と国道107号が地域内で交差し、平成9年には秋田自動車道が東北自動車道と接続され、これにより秋田市や北上市へはそれぞれ45分で結ばれています。また、横手JCTを介して湯沢横手道路（将来、東北中央自動車道）が秋田自動車道と交差しているほか、国道342号と国道397号が東に走り、岩手県一関市、奥州市方面と結ばれており、本地域は県下でも有数の交通の要衝となっています。



## 2. 道路維持管理について

### (1) 道路管理の状況

本市が管理する道路は4,390路線、実延長2,215km（H28.4.1）となっています。

表-1

道路種別	路線数	実延長 (m)	舗装済		構造物数		
			延長(m)	率(%)	橋梁	踏切	トンネル
1級市道	154	349,791	346,357	99.0	273	13	5
2級市道	150	192,171	183,194	95.3	148	3	
その他市道	4,086	1,672,740	729,454	43.6	860	18	
合計	4,390	2,214,702	1,259,005	56.8	1,281	34	5

### (2) 路面性状調査

市内の1級・2級市道路線を対象に、路面の性状（ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性）を把握し効率的、計画的に舗装補修を進めていくための基礎資料を得ることを目的に、平成25年度に1回目の路面性状

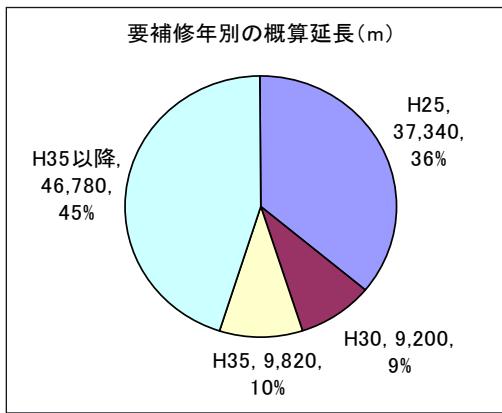


図-1

調査を実施しています。調査延長は 101 kmで評価単位（20m）毎に解読・計算した路面性状値を統合してデータを作成しました。

早急な修繕が必要である要補修箇所は、ひび割れ率 40%以上またはわだち掘れ量 40 mm以上またはIRI値 8 mm/m以上とし、それ以外の箇所については交通量を基に 5 年毎の劣化予測を行い、補修路線選定の参考としています。（図-1）平成 28 年度には 2 回目の路面性状調査を実施し、市内主要道路の未調査区域の道路状況を把握する予定です。

### 3. 橋梁長寿命化について

#### （1）橋梁長寿命化修繕計画

平成 20 年から平成 22 年までに 15m 以上の橋梁 150 橋の点検を終了し、平成 23 年度に「横手市橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

従来は通行に支障となるような損傷を受けてから補修する「対症療法的修繕」を実施していましたが、今後は損傷を受ける前や小規模な損傷のうちに対策をする「予防保全的修繕」を実施することにより、将来の大規模補修事業を減らし、今後増加する老朽化橋梁へ備えます。

表-2 長寿命化修繕計画対象橋梁

計画対象橋梁数	橋梁延長 (m)	橋梁面積 (m <sup>2</sup> )
道路橋 15 m 以上	150	5,374

今後、平成 30 年度までの間に全橋梁の点検と損傷評価を行い、適宜長寿命化修繕計画の見直しを行いながら適切な維持管理を図っていきます。



道路橋点検状況

### 4. おわりに

多くの自治体では高度経済成長期に整備され、建設後 30 ~ 50 年経過した社会資本ストックの老朽化が急速に進行し、今後一気に更新期を迎えることにより維持更新のための費用がいや応なく増大します。限られた予算の中で、橋梁や舗装をはじめとした道路施設については、計画的・効果的な維持管理と長寿命化を進め、市民の安全と快適な道路環境の実現に努めてまいります。